

I 人口の現状分析

ー総人口の推移と将来推計ー

- 福島県の人口は、約**193万人**（平成27年8月1日現在の推計人口）
- 避難者の動態予測を含めた県独自の人口推計では、県の人口は**2040年**に約**147万人**（2015年の約8割）になるものと推計される。

ー人口動向（自然動態・社会動態）ー

- 出生・死亡の増減（自然動態）は、2003年以降、死亡数が出生数を上回って推移しており、このような構造的な要因により、自然減少幅が拡大している。
- 転入・転出の状況（社会動態）は、進学期と就職期の若者の転出の影響が大きく、特に20～24歳の就職期に多く見られる。

ー人口減少が地域社会に与える影響ー

- 2040年には就業者は60.5万人（2010年の約6割）になることが予測され、労働力人口の減少や消費市場の縮小を引き起こし、地域の経済規模が縮小するなど、経済の活力が低下していくことが懸念される。
- また、地域社会では、子どもや若者の減少に伴い、学校や地域コミュニティの維持が難しくなるとともに、医療・介護などの社会保障や行財政サービスなど、様々な分野で従来の水準維持が困難となり、更なる人口流出を引き起こす悪循環に陥る恐れがある。

II 人口の将来展望

1 将来展望に係る県民アンケート結果（概要） ※県民アンケートの結果、主に以下の視点に対する政策を講じる必要がある。

- 【結婚】「雇用の安定（経済力の安定）」「仕事と家事・育児の両立」「男女が出会う機会づくり」
- 【出産・子育て】「経済的な負担の軽減」「雇用の安定」「仕事と家事・育児の両立」「家事・育児への配偶者及び配偶者以外の家族の協力」
- 【進路】「県内の魅力的な高等教育機関づくり」「県内の魅力的な企業づくり」
- 【定住・二地域】「移住希望者の仕事・住居の確保」

2 目指すべき将来の姿 ※人口の現状分析や県民アンケートの結果を踏まえ、今後の取組において基本的視点となる3つの視点と人口目標を掲げ、その実現を目指す。

(1) 基本的な視点

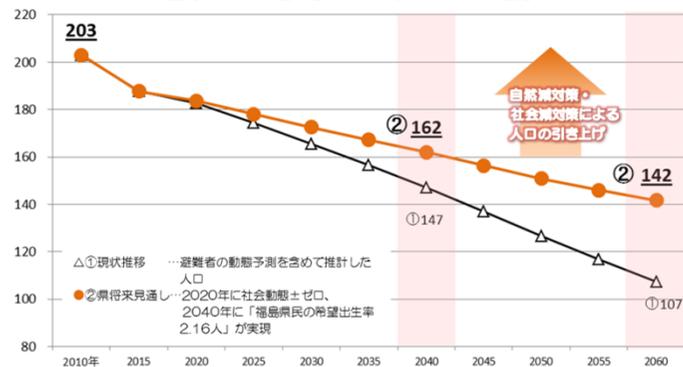
- ① 「東京一極集中」を是正し、ふくしまへの新しい人の流れをつくる社会の実現
- ② 若者が雇用の機会に恵まれ、やりがいと安定した生活を得られる社会を実現
- ③ 若者の結婚・出産・子育ての希望に応えられる社会の実現

(2) 人口目標

〔前提条件〕

- 出生率：2040年に福島県民の希望出生率**2.16人**を実現（2030年=1.94）
- 移動率：2020年に**社会動態±ゼロ**を実現
- 上記条件が実現した場合、福島県の人口は2040年に“**162万人**”を確保

図表1 福島県の将来人口推計



※当該推計は、避難者の動態予測を含めた県独自推計(2015年=188万人)を基に推計している。

2040年に福島県総人口160万人程度の確保を目指す!

持続可能なふくしまの実現